

きになる梨情報



第 62 号

平成 31 年 3 月 26 日 県南農林事務所 経営・普及部門（土浦地域農業改良普及センター）

- 3 月 26 日現在、気温から予測した「幸水」の満開期は平年よりも 3 日ほど遅れる見込みです。しかし、水戸市の桜の開花は平年より 7 日早いと予想されており（日本気象協会）、今後の気温が高く推移した場合、「幸水」の開花も平年より早くなる可能性があります。
- 開花が進むと、晩霜害発生の危険性が高まります（一般的に、午後 6 時に 8℃、午後 9 時に 4℃になると危険だと言われています。※品種や生育ステージ等により変化します）。水戸地方気象台の最低気温予測とご自身のほ場の最低気温の差を観測したり、ほ場の温度計が正確かどうか氷水で確認する等の事前準備をお願いします。
- 生育が早い場合は、参考防除例の時期（〇月〇旬など）にこだわると、薬剤散布の適期を逃すおそれがあります。例年の散布時期ではなく、現在の生育ステージに合わせた薬剤散布を行いましょう。

1 開花予測

表 「幸水」開花予測（気温観測地点：土浦【平成 31 年 3 月 24 日時点】）

開花始め	満開期
4 月 17 日	4 月 21 日（過去 10 年平均値+3 日）

※気温のみを用いた予測となりますので、降雨等の影響は考慮していません。

2 「黒星病」防除を確実にまいましょ

3 月 26 日現在、土浦地域で比較的生育の早いほ場では、幸水の花芽が「萌芽期」を過ぎる状態にあります。参考防除例の「催芽～萌芽期」防除をまだ実施していない方は、降雨予報に注意しながら薬剤散布をまいましょ。また、防除をまいましょしたばかりの方は、1 週間以上の間隔をおかずに「りん片脱落直前」の防除をできるだけ早くまいましょ（ただし、近接散布には注意してください）。

さらに、平成 30 年の黒星病秋型病斑については、県南地域で発病度が高いことが報告されています。薬剤散布とあわせて、今後の芽基部病斑の除去も徹底してください。

3 多目的防災網を早急に広げまいましょ

- (1) 高品質安定生産のため、人工授粉もあわせて徹底まいましょ。
- (2) 展張後に降雪予報が出た場合は、つぶされる可能性があるため、再度、網を収束まいましょ。
- (3) 晩霜害回避効果を高めるため、冷気が流れ出るようにサイドは開放しておきます。

4 防霜ファンの動作確認と燃焼資材の準備を急ぎまいましょ

- (1) 過去に使用した石油缶（一斗缶）の半さい缶をお持ちの場合は、鉄板等をフタにして火力を調整しながら、ロックウールや剪定枝チップ等を芯にして灯油等を燃やし、ほ場の温度を上げることを検討まいましょ。
- (2) 当普及センター管内では、燃焼法で晩霜害を回避した例がたくさんあります。夜中に行う作業のため大変ですが、「やれば回避できる」手段があることを確認まいましょ。